



UNWTO Regional Support Office for Asia and the Pacific
世界観光機関 (UNWTO) アジア太平洋センター

2015年9月24日

国連世界観光機関 (UNWTO)

世界観光指標 (World Tourism Barometer) 2015年8月号

本報道発表の原文 (英語) は、下記リンクにてご覧いただけます。

世界観光指標原文 (英語) は、UNWTO 本部での準備完了次第、

下記リンクにて抄録 (無償) 及び全文 (有償) をご覧いただけます。

<http://mkt.unwto.org/barometer>

2015年前期の国際観光客到着数は2,100万人増加

PR No.:PR15057

2015年9月10日

最新の UNWTO 世界観光指標における 2015 年前期の国際観光客到着数は 4 % 成長した。2015 年 1 月～6 月で世界のディステーションは、前年同期比 2,100 万人増加の 5 億 3,800 万人の到着を受け入れた。

到着者数ではヨーロッパ、アジア・太平洋及び中東の各地域が、5 % の増加を記録し、米州が 4 % の増加であった。アフリカは限られたデータではあるが 6 % 減少したと推定される。準地域別にはカリブ海地域及びオセアニア (共に 7% 増)、中央・東ヨーロッパ及び中央アメリカ (共に 6% 増) が高い成長を示した。

全体的には成長をみせたが、ディステーション別にはばらつきが見られる。安全や治安に世界の関心が寄せられるなかで、経済のシナリオは、先進国の回復は新興国が経済減速したのに比較すると不安定である。また、観光需要は石油価格の下落及び為替変動の影響を受けてきた。

「以上の結果は、観光は世界の不安定さが増加しているにも係わらず、過去 5 年以上に亘り、世界経済において開発及び経済の機会を提供し、確実にプラスの機会をあたえてきた。」と UNWTO タレブ・リファイ事務局長は述べ、「メデジン市 (コロンビア) で開催する第 21 回 UNWTO 総会の機会においては、特に、雇用創出、経済成長及び社会的共生という私たちの時代

において最も重要である課題を解決する潜在力を持っている観光へのより強いサポートを求めて行きたい。」と付け加えた。

2015 年年初に発行した UNWTO の見通しでは、世界の国際観光客到着数は通年で 3%~4%増加すると見込んでいるが、これは UNWTO 長期予測 2010 年~2020 年の平均成長率年 3.8%の範囲内である。

地域別実績

ヨーロッパは世界で最も到着数の多い地域であり、ユーロの為替安の恩恵を受け到着数は 5%成長した。中央・東ヨーロッパ(6%増)、並びに西ヨーロッパ、北ヨーロッパ及び南・地中海ヨーロッパ(共に 5%増)の伸びが世界平均を上回り成長を牽引した。

アジア・太平洋は 2015 年前期、到着数トップのオセアニア(7%増)のリードにより 5%の増加を記録した。北東アジア及東南アジア(共に 5%増)のディスティネーションは複雑な結果であるが日本(47%増 : 7 月までの集計)及びタイ(30%増 : 7 月までの集計)が牽引した。南アジアは到着数における 2 年間の 2 桁成長の後、4%増の比較的緩やかな成長となった。

米州の到着数は 2015 年の前期で 4%増となり、昨年の力強い結果を確固たるものにした。全ての 4 準地域におけるディスティネーションにおいて、ばらつきはあるがプラスの成長をみせた。米ドル高により米国のアウトバウンド需要が高まり、近隣のカリブ海(7%増)及び中央アメリカ(6%増)の成長を牽引した。北アメリカ(3%増)の到着数は、カナダ及びメキシコ(共に 8%)によって力強さをみせた。一方、米国は控えめな成長を見せている。南アメリカ(4%増)はブラジルのアウトバウンドの勢いが落ちたにも関わらず、多くのディスティネーションにおいて堅調な結果を記録した。

アフリカの到着数は、使用可能な限られたデータではあるが、北アフリカの 10%減少及びサハラ以南地域の 4%減少により 6%の減少となった。アフリカのディスティネーションはテロ以外にも、西アフリカの幾つかの国々において発生したエボラ熱の余波及び石油や他の製品の輸出に依存する地域経済の低成長によって影響を受けている。

中東の国際観光客到着数は 2014 年からの回復を確固たるものにして 5%成長した。

(アフリカ及び中東のデータは、使用可能な限られたデータであるため注意を要する。)

送客市場で複雑な結果

新興国・地域の送客市場においては、中国及びインドの両国が第 1-四半期において 2 桁成長でスタートを切った。一方、ロシア連邦及びブラジルからの支出は両国の市場における経済低成長及びアメリカドル及びユーロに対するルーブル及びリアル安が影響している。

従来の先進国・地域の送客市場は、米国、フランス、スウェーデン及びスペインからの需要が力強く、ドイツ、英国、イタリア及びカナダの需要はより弱含みであった。

「UNWTO 世界観光指標」

<http://mkt.unwto.org/barometer>

「UNWTO ツーリズムハイライト」2015 年度版（無償）

<http://mkt.unwto.org/publication/unwto-tourism-highlights>

○UNWTO World Tourism Barometer (UNWTO 世界観光指標「バロメーター」) とは

UNWTO 世界観光指標（「バロメーター」）は最新の世界の観光動向を示す統計指標で、UNWTO 本部から、年 6 回を目処に公表されます。UNWTO アジア太平洋センターでは、本部の公表にあわせてタイムリーに情報提供しています。

○国連世界観光機関（UNWTO）アジア太平洋センターについて

UNWTO は、1975年1月に観光に関する国際機関として設立され、2003年に国連の専門機関に移行した観光に関する世界最大の国際機関です。観光の地位・競争力の向上、持続可能な観光の推進、観光を通じた貧困削減や開発の推進等を支援しています。

UNWTO アジア太平洋センターは、UNWTO 唯一の地域事務所として、1995年に設立され、2012年12月に奈良へ移転しました。同センターではアジア太平洋地域の交流促進を図り、観光を通じた経済発展や国際相互理解の増進を図るために、国際会議、セミナー、シンポジウムの開催や調査研究業務を行っています。

(お問い合わせ先)

国連世界観光機関(UNWTO)アジア太平洋センター

(一般財団法人アジア太平洋観光交流センター)

担当：藤永、吉田

電話：0742-30-3880 Fax：0742-30-3883

E-mail: info@unwto-aptec.org

(メディア専用窓口)

UNWTO 本部 コミュニケーションプログラム

media1@unwto.org

メディアの方は本部へ直接、英語でお問合せください。

お問合せ方法にご質問のある方は UNWTO アジア太平洋センターにお問合せください。